

ZOOM 508 DELAY 取扱説明書

このたびは、ズーム508（以下“508”と呼びます）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

508の機能を十分にご理解いただき、未永くご愛用いただくためにも、ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお取り扱いいただきますよう、お願い申し上げます。

なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

株式会社ズーム 〒183 東京都府中市宮西町2-10-2 ノアビル1階
電話：0423-69-7111 ファクシミリ：0423-69-7115
Printed in Japan 508-5010



1 特長

コンパクトなサイズながら、最長4000msのディレイタイムが得られ、8種類（4タイプ×2バリエーション）のディレイタイプが選択できるディレイ専用機です。

ZOOMが独自に開発したDSP（デジタル信号処理装置）“ZFx-2”を搭載し、ディレイエフェクトのみにパワーを集中させた贅沢な設計。上級機なみの多彩で高品位なディレイサウンドが得られます。

ご自分の好みに合わせて、さまざまな設定がメモリーできる24種類のパッチの中から切り替えてお使いになれます。

パッチを切り替えても前のディレイ音が音切れしないシームレス機能を搭載。滑らかなパッチチェンジが可能です。

フットスイッチを踏むまでディレイ音を持続させるホールド機能や、フットスイッチを踏む間隔でディレイタイムを設定するタップ機能など、ライブで威力を発揮するギミックな機能も搭載。

ギター用オートクロマチックチューナーを内蔵。いつでもどこでも簡単にチューニングができます。また、チューナー機能を常時オフにすることも可能です。

オプションのエクспレッションペダルFP01を接続すれば、ディレイ音のミックス量を足元でコントロールできます。

6LR61形乾電池（アルカリ）ACアダプターに対応した2電源方式を採用。

2 安全にご使用いただくためのお取り扱い上のご注意

安全上のご注意

この取り扱い説明書では、誤った取り扱いによる事故を未然に防ぐための注意事項を、マークを付けて表示しています。マークの意味はつぎの通りです。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、または物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

本製品を安全にご使用いただくために、つぎの事項にご注意ください。

電源について

警告 本製品は、消費電流が大きいため、ACアダプターのご使用をお薦めしますが、電池でお使いになる場合は、アルカリ電池をご使用ください。

ACアダプターによる駆動
ACアダプターは、必ずDC9Vセンターマイナス300mA（ズームAD-0006）をご使用ください。指定外のACアダプターをお使いになりますと、故障や誤動作の原因となり危険です。
ACアダプターの定格入力AC電圧と接続するコンセントのAC電圧は必ず一致させてください。
ACアダプターをコンセントから抜く時は、必ずACアダプター本体を持って行ってください。
長時間ご使用とならない場合は、ACアダプターをコンセントから抜いてください。

乾電池による駆動
市販の6LR61 / 9V形乾電池（アルカリ）をお使いください。508は充電機能を持っていません。
乾電池の注意表示をよくみてご使用ください。
長時間ご使用にならない場合は、乾電池を508から取り出してご使用ください。
万一、乾電池の液もれが発生した場合は、電池ケース内や電池端子に付いた液をよく拭き取ってください。
ご使用の際は、必ず電池ボックスを開けてください。

使用環境について

注意 508をつぎのような場所でご使用になりますと、故障の原因となります。必ずお避けください。
温度が極端に高くなる所や低くなる所
湿度が極端に高い所
砂やほこりの多い所
振動や衝撃の多い所

取り扱いについて

注意 508は精密機器ですのでフットスイッチ以外のスイッチ類は足で踏むなど無理な力を加えないようにしてください。
508に異物（硬貨や針金など）または液体（水、ジュースやアルコールなど）を入れないように注意してください。
ケーブルを接続する際は、各機器の電源を必ずオフしてから行ってください。
移動させる場合は一旦電源をオフしてから必ずすべての接続ケーブルとACアダプターを抜いてから行ってください。

改造について

注意 ケースを開けたり改造を加えることは、故障の原因となりますので絶対におやめください。
改造が原因で故障が発生しても当社では責任を負いかねます。

使用上のご注意

他の電気機器への影響について

508は、安全性を考慮して本体からの電波放出および外部からの電波干渉を極力抑えております。
しかし、電波干渉を非常に受けやすい機器や極端に強い電波を放出する機器の周辺に設置すると影響がでる場合があります。
そのような場合は、508と影響する機器とを十分に距離をおいて設置してください。
デジタル制御の電子機器では、508も含めて、電波障害による誤動作やデータ破損、消失など思わぬ事故が発生しかねません。ご注意ください。

お手入れについて

508が汚れたときは、柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが落ちない場合は、濡らせた布をよくしぼってふいてください。
クレンザー、ワックスおよびアルコール、ベンジン、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

故障について

故障したり異常が発生した場合は、すぐにINPUT端子にさされているケーブルのプラグがACアダプターまたは電池を抜いて電源を切り、他の接続されているケーブル類も外してください。
「製品の型番」「製造番号」「故障、異常の具体的な症状」「お客様のお名前、ご住所、お電話番号」をお買い上げの販売店またはズームサービスまでご連絡ください。

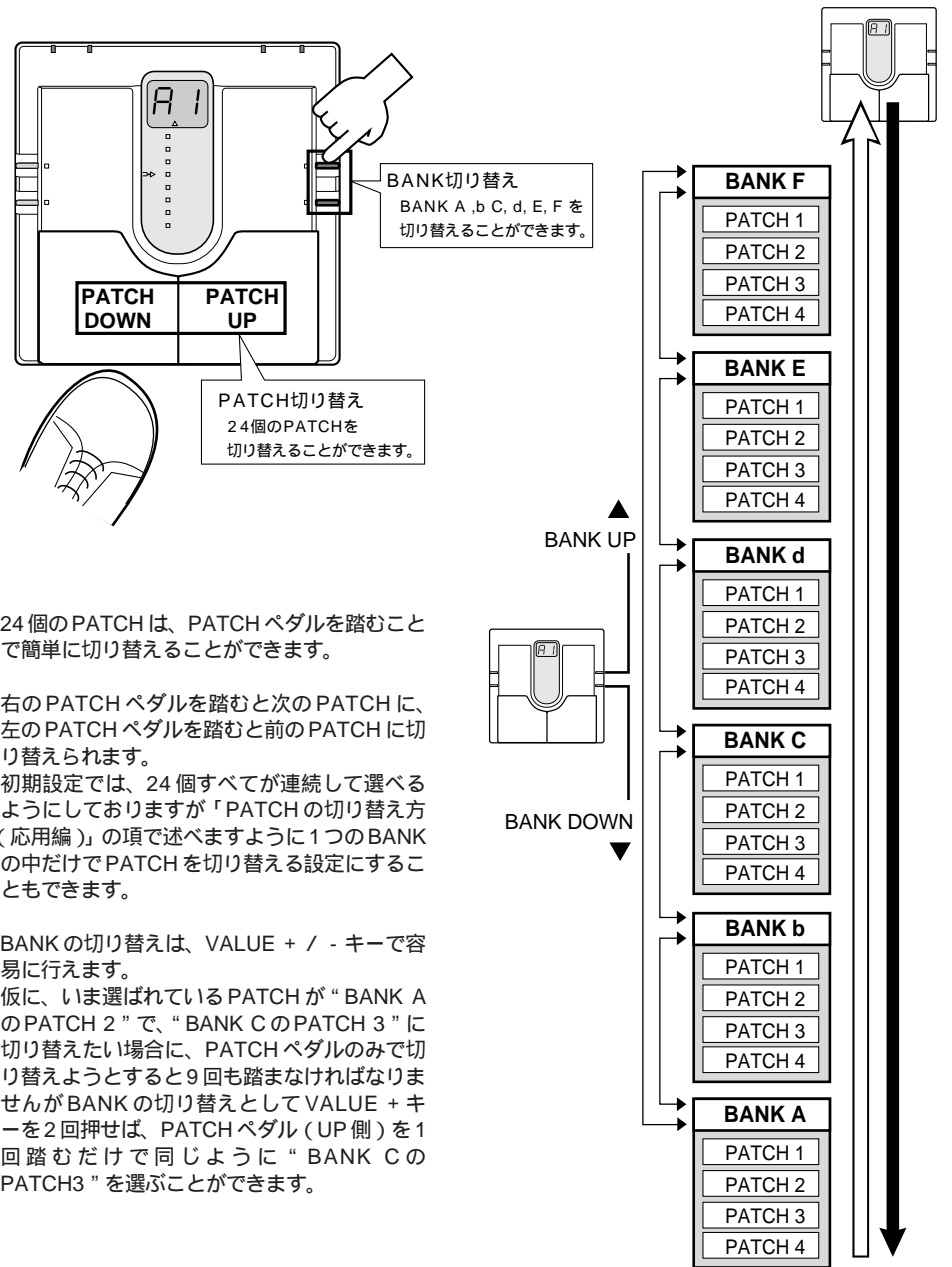
保証書の手続きとサービスについて

保証期間は、お買い上げいただいた日から1年間です。ご購入された店舗で必ず保証書の手続きをしてください。
万一、保証期間内に、製造上の不備による故障が生じた場合は、無償で修理いたしますので、お買い上げの販売店に保証書を提示して修理をご依頼ください。

ただし、つぎの場合の修理は有償となります。

1. 保証書のご提示が無い場合
2. 保証書にご購入の年月日、販売店名の記述が無い場合
3. お客様の取り扱いが不適当なため生じた故障の場合
4. 指定業者以外での修理、改造が不適当なため生じた故障の場合
5. 故障の原因が本製品以外の他の機器にある場合
6. ご購入後に製品が受けた過度の衝撃による故障の場合
7. 本製品に起因しない事故や人災および天災による故障の場合
8. 消耗品（電池など）を交換する場合
9. 日本国外でご使用になる場合

7 PATCHの切り替え方



24個のPATCHは、PATCHペダルを踏むことで簡単に切り替えることができます。

右のPATCHペダルを踏むと次のPATCHに、左のPATCHペダルを踏むと前のPATCHに切り替えられます。
初期設定では、24個すべてが連続して選べるようにしておりますが「PATCHの切り替え方(応用編)」の項で述べますように1つのBANKの中だけでPATCHを切り替える設定にすることもできます。

BANKの切り替えは、VALUE + / - キーで容易に行えます。
仮に、いま選ばれているPATCHが「BANK AのPATCH 2」で、「BANK CのPATCH 3」に切り替えたい場合に、PATCHペダルのみで切り替えようとする9回踏まなければならないませんがBANKの切り替えとしてVALUE + キーを2回押せば、PATCHペダル(UP側)を1回踏むだけで同じように「BANK CのPATCH 3」を選ぶことができます。

BANK HOLD OFF 時の
BANK/PATCH の切り替わり

8 バイパス/チューナーの使い方

508は、エフェクトの音を一時的にオフの状態(これをバイパスと呼びます)にして、楽器の原音のみを出力させることができます。
また、バイパス状態のときに、インジケータ表示によるギター用オートクロマチックチューナー機能を利用することも可能です。

バイパス状態

2個のPATCHペダルを同時に踏むとバイパスされます。

現在選択されているPATCHの表示

AI

踏む

BP

踏む

すぐに離す

チューナー機能(チューナー機能がオンのときのみ)

チューナー機能のオン/オフ
プレイモードでEDITキーとSTOREキーを同時に1秒以上押せば、チューナー機能のオン/オフ(バイパス状態のときにチューナー機能が動作するかどうか)を設定できます。設定を変更したときに、ディスプレイに「tunEr oFF」(チューナーオフ)、「tunEr on」(チューナーオン)と表示されます。

キャリブレーション調節
ギター用オートクロマチックチューナーの基準ピッチを設定します(キャリブレーション)。
* 基準ピッチは、A = 435Hz - 445Hzの範囲で設定できます。バイパス/チューナー状態でBANKボタンを押すと、約1秒間ディスプレイ上に35 - 45の数値が表示されますので、適切な値に合わせてください。電源オン時には、440Hz(40)に設定されています。

バイパス機能のオン/オフ
左右のPATCHペダルを同時に踏むとバイパス機能が動作します。バイパス/チューナー状態を解除したいときは、どちらか一方のPATCHペダルを踏むだけで解除できます。

バイパスを解除する場合は、どちらか一方のPATCHペダルを踏むだけで解除されます。バイパスが解除されると、以前選ばれていたPATCHに復帰します。

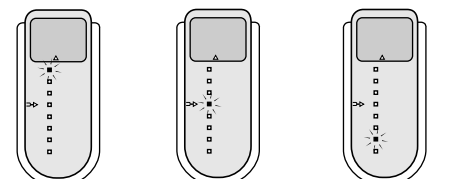
チューナー機能

508のお買い上げ時には、バイパス状態にしたときに、自動的にギター用オートクロマチックチューナー機能が動作するように設定されています。508がバイパス状態のときにチューニングしたい弦を開放弦で弾くと、その音名に最も近い音名が、ディスプレイに表示されます。

入力信号待機状態 = --

ド=C = [レ#=D# = [ファ=F# = [レギュラーチューニング ラ=A = A 5弦
ド# = C# = [ミ=E = [ソ=G = [レギュラーチューニング ラ# = A# = A 〇
レ=D = [ファ=F = [ソ# = G# = [レギュラーチューニング シ=B = b 2弦

チューナー機能が動作しているときには、PARAMETER CURSOR インジケータが、チューニングの精度を計るメーターとして働き、微調整の目安として利用できます。



チューナー機能をオフにするには

バイパス状態のときに、チューナー機能を動作させたくない場合は、プレイモードでSTOREキーとEDITキーを1秒間以上同時に押してください。これでチューナー機能がオフになり、電源をオフにしてもこの設定が記憶されます。設定を変更したときに、ディスプレイに「tunEr oFF」(チューナーオフ)と表示されます。

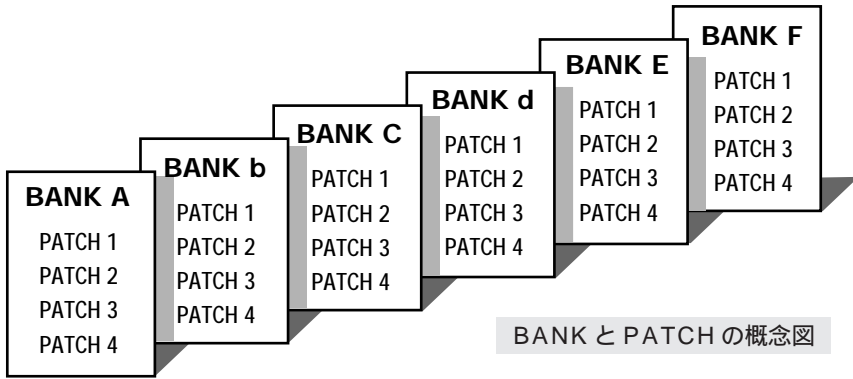
チューナー機能をオンに戻すときも、同じ手順です。この場合は「tunEr on」(チューナーオン)と表示されます。

NOTE : ギターと508の間で他のエフェクターがオンになっている場合、チューナーが正しく動作しないことがありますので、ご注意ください。

3 BANK / PATCHとは?

PATCH : エフェクトの設定を一組にまとめたものをPATCH (パッチ) と呼びます。PATCHは、全部で24個あります。508には、あらかじめ24種類のPATCHが記憶されています。この設定は、お好みに合わせた作り変え (EDIT : エディット) ができます。

BANK : 4個のPATCHをひとまとめにした区切りをBANK (バンク) と呼びます。



4 PATCH LIST

508は、24個のPATCHがあります。これらには、工場出荷の際にあらかじめ当社推奨の設定が記憶されています。PATCHの内容は、お好みに合わせて自由に作り変えることができますし、再び呼び出すこともできます。

BANK	PATCH	PATCH NAME	COMMENT
A	1	LEAD DELAY	バラードリードに最適なロングディレイ
	2	SPACY ARPEGGIO	異なるタイムのディレイが幻想的
	3	SOUND ON SOUND	Queen風フレーズでいってみよう
	4	JAZZ CLUB	JAZZYしてしまうあなたへ...
b	1	MUTE CUTTING	細かいミュートカッティングに向けたディレイ
	2	DEEP OLD DELAY	古めのエコーユニットを深くかけた感じ
	3	ODD METER	5拍子のリズムを奏でるディレイ、ホールド可能
	4	WARM WRAP	暖かみのあるディレイに包まれます
C	1	DOTTED EIGHT	付点8分のディレイです
	2	SWEET TONE TRIPLET	ハネるディレイ、楽しい気持ちになってくる
	3	EDGE DELAY	エンハンサー的にサウンドのエッジを立てます
	4	HOLLOW BODY	ギターサウンドをアコースティック風に演出します
d	1	BRIGHT DELAY	原音よりも音抜けの良いディレイ音
	2	RHYTHM BOUNCE	16ビート系の単音フレーズが似合います
	3	ETHNIC	アラビア音階で砂漠の感じ
	4	MY ROOM	狭めの部屋鳴りを追加します
E	1	150 BPM	4分音符を刻むと8ビートになります
	2	SHADOW	まとわりつくディレイです
	3	SHORT REVERB	リバーブ風セッティングです
	4	HQ DUBBLING	原音に忠実な高品質ダブリングディレイ
F	1	4 SEC DELAY	オーバーダビングできる独り遊び用
	2	SOFT ECHO	ディレイの返りが丸くこもった音のソフトエコー
	3	COMB FILTER	音に強力なコムフィルター効果を加えます
	4	SHORT ECHO	実用的なエコーサウンドです

5 SEAMLESS (シームレス) 機能について

従来のディレイやマルチエフェクターでは、PATCHを切り替えたときに不自然な音切れが発生していました。

例えば長めのディレイを使ったパッチでソロ演奏しているときに、バックアップ用のショートディレイのかかったPATCHに切り替えると、その瞬間に前のPATCHのディレイが止まってしまう、響きが不自然になってしまいます。

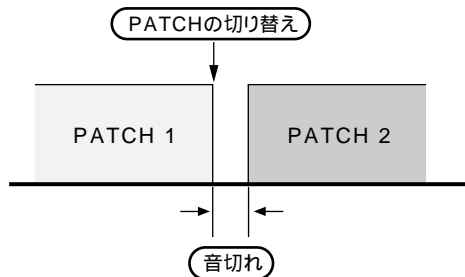
このようなギタリストの不満を解消するために、508には画期的な「SEAMLESS機能」が搭載されています。これはPATCHを切り替えたときにも前のPATCHのディレイ音を残し、滑らかなPATCH切り替えを行う機能です。

SEAMLESS機能を利用する場合、ディレイ音をPATCHで設定された時間だけ残す方法と、SEAMLESS機能で決めた時間で強制的にディレイ音を減衰させる方法があります。

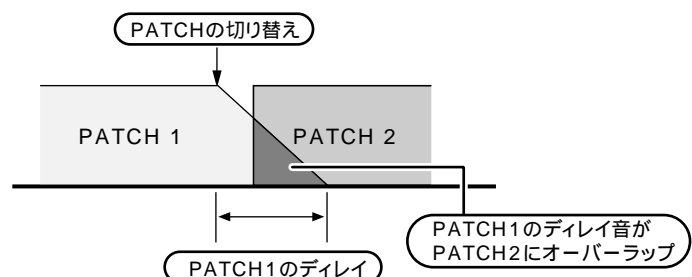
また、SEAMLESS機能は常時オンにしておくのが良いとは限りません。曲の中でどんな状況でPATCHを切り替えるのかに応じてオンにしたりオフにするといいでしょう (SEAMLESS機能のオン/オフはPATCHごとに記憶できます)。

SEAMLESS機能をHOLD機能と組み合わせれば、リフやリズムパターンをホールド (繰り返し再生) させながら、新しいPATCHでソロ演奏することも可能です。詳しくは「12. エフェクトパラメーターの一覧表」をご参照ください。

従来のPATCHの切り替え



SEAMLESS機能



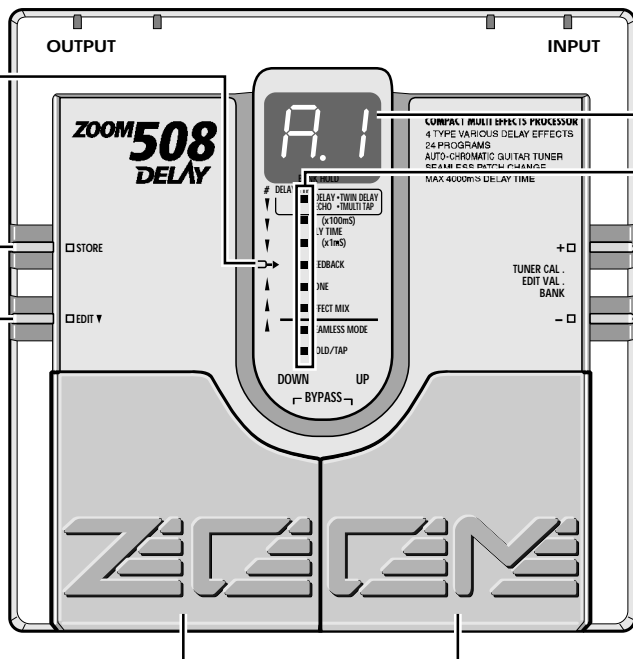
6 各部の名前とはたらき / 接続について

フロントパネル

TUNER (チューナー) インジケーター :
508がチューナーとして動作していることを表示するインジケーターです。また、チューニングを微調節する際のジャストチューニングの位置を示します。
BATTERY EMPTY WARNING表示 :
電池駆動時には、このインジケーターの点滅で電池が消費していることを警告します。

STORE (ストア; 保存) キー :
PATCHの内容を保存する際に、保存待機状態にさせたり、保存を実行させる際に使用するキーです。
DIRECT LOAD機能の設定 :
演奏をお楽しみいただく状態 (これを「プレイモード」と呼びます) でSTOREキーを1秒以上押すと、DIRECT LOAD機能のオン/オフが切り替えられます (詳しくは「10. PATCHの切り替え方 (応用編: DIRECT LOAD OFF)」をご参照ください)。

EDIT (エディット; PATCHを自分の好みに作り変える) キー :
プレイモードからPATCHを好みに合うように作り変える状態 (これを「エディットモード」と呼びます) に切り替えるときに使用するキーです。エディットモードでは、このキーで変更したいエフェクトパラメーターを選択します。また、エフェクトパラメーターHOLD/TAPが選ばれているときにEDITキーを押せば、エディットモードからプレイモードにもどることができます。
BANK HOLD機能の設定 :
プレイモードでEDITキーを1秒以上押すと、BANK HOLD機能のオン/オフが切り替わります (詳しくは「9. PATCHの切り替え方 (応用編: BANK HOLD ON)」をご参照ください)。



DISPLAY (ディスプレイ) :
508を操作するのに必要な情報が表示されます。
プレイモード:
選ばれているBANK (A-F) とPATCH (1-4) を表示します。
エディットモード:
選択されているエフェクトパラメーターの値を表示します。
バイパス/チューナー状態:
入力された楽器音の最寄りの音名を表示します。

PARAMETER CURSOR (パラメーターカーソル) インジケーター :
プレイモード:
エフェクトのオン/オフ (DELAYインジケーター) やSEAMLESS機能のオン/オフ (SEAMLESSインジケーター) を点灯/点滅/消灯で表示します。
エディットモード:
エフェクトのオン/オフ (DELAYインジケーター) やSEAMLESS機能のオン/オフ (SEAMLESSインジケーター) を点灯/消灯で表示します。また、エディットの対象に選ばれているエフェクトパラメーターを点滅で表示します。
バイパス/チューナー状態:
入力された信号のピッチの高低を表すチューナーのメーターとして動作します。

VALUE (バリュー; 値) +/- キー :
プレイモード:
BANKの切り替えに使用します。
エディットモード:
エフェクトパラメーターの値を設定するときに使用します。
バイパス/チューナー状態:
チューナーの基準ピッチを設定 (キャリブレーション) するときに使用します。

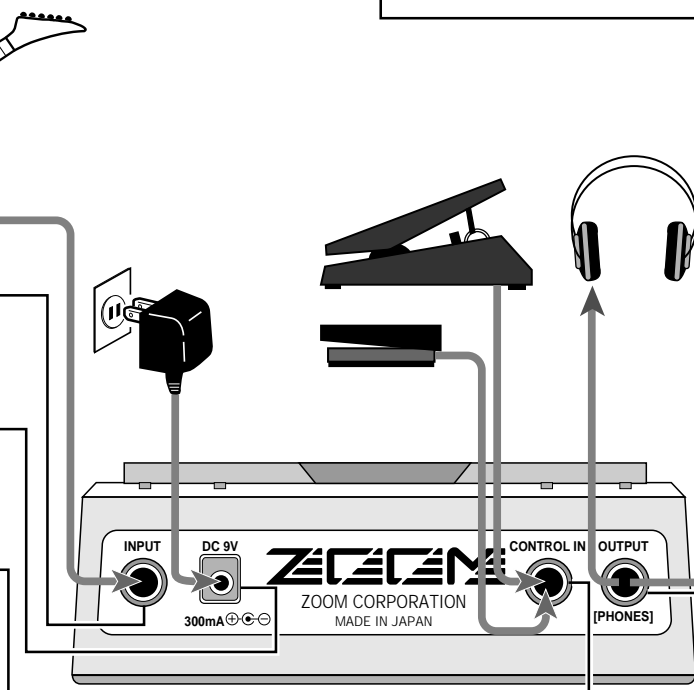
PATCH UP (右) / DOWN (左) ペダル :
プレイモード:
PATCHを切り替えるときに使用します。また両方を同時に踏むと、508がバイパス/チューナー状態になります。
エディットモード:
エディットの対象となるエフェクトパラメーターを選ぶときに使用します。またHOLD/TAP以外のパラメーターが選ばれているときに両方を同時に踏むと、エフェクトのオン/オフを切り替えることができます。さらにHOLD/TAPパラメーターが選ばれているときは、両方を同時に踏むことでHOLD (ホールド: ディレイ音を持続させる) 機能やTAP (タップ: フットスイッチを踏む間隔でディレイタイムを設定する) 機能が利用できます。
バイパス/チューナー状態:
バイパス/チューナー状態から抜けてプレイモードに戻るときに使用します。この場合はどちらか一方のみを踏めばプレイモードに戻ります。

リアパネル

INPUT (インプット) 端子 :
ギターを接続します。インプット端子は、電池駆動時の電源スイッチにもなっています。シールドケーブルを端子に接続すると、508の電源がオンになります。電池の消費を防ぐために、使用しないときはケーブルを抜いてください。

DC IN (ACアダプター) 端子 :
DC9Vセンターマイナス300mAのACアダプター (ZOOM AD-0006) を接続します。この端子にACアダプターを接続すると508の電源がオンになります。

CONTROL IN (コントロール イン) 端子 :
オプションのエクスペッションペダルFP01やフットスイッチFS01を接続して508を外部からコントロールする端子です。オプションのエクスペッションペダルFP01を接続すると、ディレイ音のミックス量をコントロールできます。オプションのフットスイッチFS01を接続すると、プレイモードでHOLD機能やTAP機能が利用できるようになります。



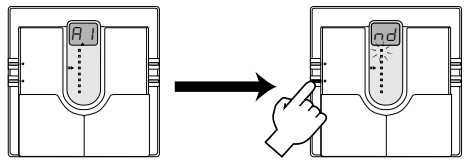
OUTPUT (アウトプット) 端子 :
508の音を出力する端子です。モノラルシールドケーブルで1台のギターアンプに、またはY字ステレオシールドケーブルで2台のギターアンプにつなぐか、ステレオヘッドフォンをつないでください。なお、ステレオヘッドフォンをお使いになる場合は、若干音量が小さく感じられることがあります。その場合は、負荷インピーダンスの重いヘッドフォン (負荷インピーダンス=32Ω以下) をご使用ください。

11 PATCHの作り変え方(エディット)

508のお買い上げ時には、あらかじめ推奨設定として24個のPATCHが内部に記憶されています。しかし、これらのPATCHは508の持つ多彩な音色や能力のごく一部でしかありません。そこで508では、お客様の好みに合わせてより多くの音色をお楽しみいただけるように、パラメーター(PATCHの構成要素)の設定を変更して音色を作り替える機能が付いています。この作り替える操作を「エディット」と呼び、エディットを行うための状態を「エディットモード」と呼びます。

通常の演奏をお楽しみいただく状態(プレイモード)からエディットを行うための状態(エディットモード)にするには、EDITキーを押し、すぐに(1秒未満)離してください。

* 1秒以上押し、BANK HOLD機能のオン/オフ切り替え操作になってしまうので、ご注意ください。



まず、プレイモードでエディットの元とするPATCHを選びます。EDITキーを押します。これでエディットモードになります。

プレイモードからエディットモードに入った直後は、常にPARAMETER CURSORインジケータの一番上(DELAY TYPEパラメーター)が点滅し、そのパラメーターの設定内容がディスプレイに表示されます。これはDELAY TYPEパラメーターがエディットの対象として選ばれていることを表します。

エディットモード内では、EDITキーでエディットの対象となるパラメーターを選びます。EDITキーを押すごとにPARAMETER CURSORインジケータの点滅部分が下に移動していきます。PARAMETER CURSORインジケータの点滅しているところがエディットの対象となります。

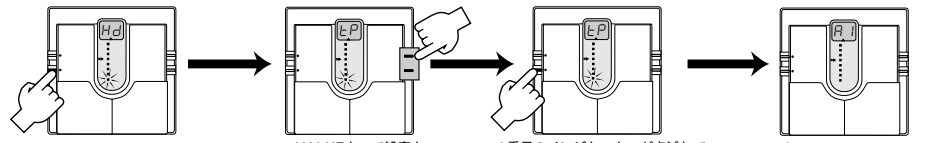
それぞれのPARAMETER CURSORインジケータには、つぎのようなパラメーターが割り当てられています。

- ・1番目のPARAMETER CURSORインジケータ：ディレイタイプの選択
- ・2番目のPARAMETER CURSORインジケータ：ディレイタイムの設定(100ms単位)
- ・3番目のPARAMETER CURSORインジケータ：ディレイタイムの設定(1ms単位)
- ・4番目のPARAMETER CURSORインジケータ：フィードバックの設定
- ・5番目のPARAMETER CURSORインジケータ：ディレイ音のトーン設定
- ・6番目のPARAMETER CURSORインジケータ：ディレイ音のミックス量の設定
- ・7番目のPARAMETER CURSORインジケータ：SEAMLESS機能の設定
- ・8番目のPARAMETER CURSORインジケータ：HOLD/TAP機能の切り替え

パラメーターの変更は、VALUE +/- キーで行います。どちらか一方のみを押してすぐ離せば値が1つずつ増減し、押し続けられれば値が連続して変化します。また、どちらか一方のキーを押しながらもう一方を押した場合は、最初に押したキーの方向にすばやく変化します。また、パラメーターによってはVALUE +/- キーを同時に押すことでスキップできるものもあります。

それぞれのパラメーター内容については、「12.エフェクトパラメーターの一覧表」をご覧ください。

8番目のHOLD/TAPのPARAMETER CURSORインジケータが点滅しているときに、EDITキーを押すと、エディットモードを抜けてプレイモードにもどります。



変更したいパラメーターをEDITキーまたはPATCHペダルで選びます。

VALUEキーで設定を調節します。

8番目のインジケータが点滅しているとき、さらにEDITキーを押します。

プレイモードに戻ります。

12 エフェクトパラメーターの一覧表

508のPATCHは「エフェクトパラメーター」と呼ばれる、音色を決める要素から構成されています。エフェクトパラメーターの中には、ディレイタイプ(ディレイの機能や特徴)を決めるものや、ディレイタイムやフィードバックを決めるものがあります。

コンパクトエフェクターにたとえれば、ディレイタイプが個々のエフェクター、その他のパラメーターがそのエフェクターのつまみと考えることができます。

ここでは、508のPATCHを構成するすべてのエフェクトパラメーターを説明します。

PARAMETER 1

ディレイタイプを選びます。DELAY系、TWIN DELAY系、ECHO系、MULTI TAP DELAY系の4つのタイプにそれぞれ2つずつのバリエーション、合計8タイプが選択できます。

設定範囲 **nd, Pd, nt, St, nE, SE, n4, n6**

* タイプを切り替えた場合でも、その他のパラメーターの設定値は変化しません。

DELAY TYPE (ディレイタイプ)	DELAY (ディレイ)系のタイプ		TWIN DELAY (ツインディレイ)系のタイプ		ECHO (エコー)系のタイプ		MULTI TAP DELAY (マルチタップディレイ)系のタイプ	
	NORMAL DELAY	PINGPONG DELAY	NORMAL TWIN DELAY (MONO)	STEREO TWIN DELAY	NORMAL ECHO (MONO)	STEREO ECHO	MULTI TAP DELAY (4TAPS)	MULTI TAP DELAY (6TAPS)
	nd	Pd	nt	St	nE	SE	n4	n6
	最高4000msもの超ロングディレイが得られるモノラルのディレイです。	NORMAL DELAYのステレオ版です。ディレイ音が左右チャンネル交互に出力されます。	タップ1(ディレイタイム=最大4000ms)、タップ2(ディレイタイム=タップ1の1/2)というディレイタイムの異なる2系統のディレイが得られるツインディレイです。フィードバックをゼロに設定すれば、1人3重奏が行えます。	TWIN DELAY NORMALのステレオ版で、タップ1がL(左)チャンネル、タップ2がR(右)チャンネルに出力されます。	タイムが短いときはリバーブのような残響効果、長いときは山びこのような効果が得られるディレイです。	ECHOのステレオ版です。	4系統のタップ(独立したディレイ)が得られるリズムカルなマルチタップディレイです。	6系統のタップが得られるリズムカルなマルチタップディレイです。

PARAMETER 2

ディレイタイムを100ms単位で設定します。PARAMETER 3と組み合わせて最短1msから最長4000msまで指定できます。VALUE +/- キーを両方同時に押し、10、20、30、40と値をスキップさせることができます。

設定範囲 **0 40** 値が大きくなるほど、ディレイタイムが長くなります。

PARAMETER 3

ディレイタイムを1ms単位で設定します。PARAMETER 2で大まかに合わせたディレイタイムをさらに細かく調節できます。

設定範囲 **0 99** 値が大きくなるほど、ディレイタイムが長くなります。PARAMETER 2の値が0の場合は、1-99の設定範囲となります。VALUE +/- キーを両方同時に押し、10、20...90、99と値をスキップさせることができます。

PARAMETER 4

ディレイ音のフィードバック(繰り返し回数)を調節します。

設定範囲 **0 99** 値が大きくなるほど、繰り返し回数が多くなります。VALUE +/- キーを両方同時に押し、10、20...90、99と値をスキップさせることができます。

PARAMETER 5

このパラメーターは、設定範囲やディレイタイプに応じて働きが変わります。

設定範囲 **0 40** 値が0-40の範囲では、PARAMETER 1で選択されたディレイタイプに応じてパラメーターの働きが異なります。
 DELAY系のタイプが選ばれている場合
 ディレイ音のHi Damp(ディレイ音が繰り返されるたびに高音が減衰していく効果)を設定します。値が小さくなるほどディレイの高音部の減衰が速くなります。
 DELAY系以外のタイプが選ばれている場合
 ディレイ音のHi Cut(ディレイ音の高音をカットする割合)を設定します。値が小さくなるほどディレイの高音部がカットされ、柔らかい音色となります。

設定範囲 **41 50** 値が41-50の範囲では、どのディレイタイプが選ばれている場合でも、ディレイ音のHi Boost(高域を強調する割合)を設定します。値が大きくなるほど高域が強調されて明るく硬めの音色となります。

PARAMETER 6

原音に対するディレイ音のミックス量を設定します。

設定範囲 **0 50** 値が大きくなるほどディレイ音のミックス量が増えていきます。VALUE +/- キーを両方同時に押し、10、20...50と値をスキップさせることができます。

PARAMETER 7

現在のPATCHを別のPATCHに切り替えたときに、SEAMLESS機能でオーバーラップさせるディレイ音の長さを設定します。

設定範囲 **oF, 0.5, 1.0, 9.5, 10, oo** oFの表示では、SEAMLESS機能がオフになります。0.5-10の範囲では、PATCHで設定されたディレイタイムとは無関係に、このパラメーターで設定された時間だけオーバーラップします。oFの表示では、ディレイ音をPATCHで設定された時間だけ持続します。

PARAMETER 8

CONTROL IN端子に接続したオプションのフットスイッチFS01、または左右のPATCHペダルを使ってHOLD(ディレイ音を持続させる)機能やTAP(フットスイッチを踏む間隔でディレイタイムを設定する)機能を利用するためのパラメーターです。PATCHごとにどちらの機能を利用するかを設定できます。

設定範囲 **Hd, tP** Hdの表示ではHOLD機能、tPの表示ではTAP機能が利用できます。

HINT 1

変更したいパラメーターの選択

「11. PATCHの作り変え方(エディット)」で説明したように、変更したいパラメーターはEDITキーを何度か押しで選択しますが、PATCHペダルを用いても同じように選択することができます。

PATCH UPペダル(右側のPATCHペダル)を押すと、下から上へインジケータの点滅(選択されているパラメーター)が移動します。PATCH DOWNペダル(左側のPATCHペダル)を押すと、上から下へインジケータの点滅が移動します。

HINT 2

エフェクトのオン/オフについて

通常、演奏中にディレイをオフにしたい場合は、バイパス機能を利用します。しかし、SEAMLESS機能を使って前のPATCHのディレイ音を残しながら、次のPATCHではディレイをかけたくない場合は、エフェクトをオフにしたPATCHを用意しておきます。

エフェクトをオフにするには、エディットモードでHOLD/TAP以外のパラメーターを選び、左右のPATCHペダルを同時に踏みます。これでエフェクトがオフになり、DELAY TYPEのPARAMETER CURSORインジケータが点滅します。また、ディスプレイが次のように変化します。

DELAY TYPEパラメーターが選ばれているときのエフェクト・オフの表示

その他のパラメーター(HOLD/TAPを除く)が選ばれているときのエフェクト・オフの表示

エフェクトをオンにもどすには、エディットモードで(どのパラメーターが選ばれていてもかまいません)もう一度両方のPATCHペダルを同時に踏みます。これで各パラメーターの設定値も元の値(オフにされる直前のパラメーター値)にもどります。また、エディットモードでVALUE +/- キーのどちらか一方を押した場合も、エフェクトがオンにもどります。

HINT 3

マスターエフェクトレベルの調節

508では、エフェクト音のミックス量を決定するマスターエフェクトレベルを調節することができます。マスターエフェクトレベルを設定するには、プレイモードで、VALUE +/- キーを同時に1秒間以上押し続けます。すると、現在のマスターレベルが1秒間ディスプレイに表示されます。レベルを変更した場合は、マスターエフェクトレベルの値が表示されている間に、VALUE +/- キーまたはVALUE +/- キーを用いて希望の音量になるように調節します。

マスターエフェクトレベルの調節できる範囲は0-50です(初期設定値=40)。なお、マスターエフェクトレベルの値は記憶されません。電源をオンすることによって再度調節してください。

HINT 4

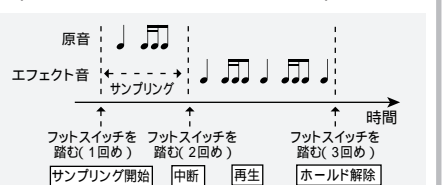
HOLD機能について

HOLD機能は、オプションのフットスイッチFS01の操作で演奏をサンプリング(録音)し、フットスイッチを踏むまで繰り返し再生する機能です。HOLD機能の利用方法には、フットスイッチでサンプリングの終了位置を指定するMANUAL(マニュアル)モードと、PATCHで設定されたディレイタイムの長さだけサンプリングを行うAUTO(オート)モードがあります。

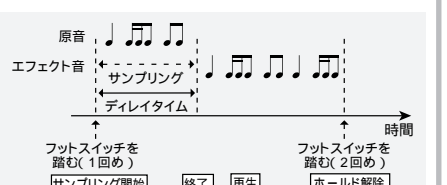
HOLD機能を利用する準備
 HOLD機能を利用するには、CONTROL IN端子にFS01を接続します。また、あらかじめHOLD/TAPパラメーターがHdに設定されたPATCHを選んでおきます。

MANUALモードの操作
 ギターを演奏しながらFS01を踏んでサンプリングを開始し、PATCHで設定されたディレイタイムが経過する前にもう一度FS01を踏みます。これでFS01を2回踏む間の演奏がサンプリングされ、そのまま「HOLD」(繰り返し再生)されます(HOLD/TAPインジケータが点滅します)。3回目FS01を踏むと、サンプリングされた演奏をもう一度最後まで再生した後でHOLD機能が解除されます。

(HOLD/TAPのインジケータが消灯します)



AUTOモードの操作
 ギターを演奏しながらFS01を1回踏み、そのまま演奏を続けます。FS01を踏んでからPATCHで設定されたディレイタイムが経過すると、その間の演奏がサンプリングされ、そのまま「HOLD」(繰り返し再生)されます(HOLD/TAPインジケータが点滅します)。2回目にFS01を踏むと、サンプリングされた演奏をもう一度最後まで再生した後でHOLD機能が解除されます(HOLD/TAPのインジケータが消灯します)。



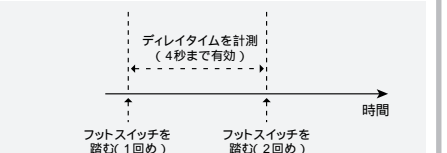
- * MANUALモードではディレイタイムを長めに、AUTOモードではディレイタイムを曲のテンポに合わせて設定するといいでよい。
- * FS01の代わりに左右のPATCHペダルを同時に踏むことで、HOLD機能を利用することも可能です。ただしこの場合は、エディットモードでHOLD/TAPパラメーターが選択された状態のみ、利用できます。
- * 本機にFS01を接続する場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。また、FS01が思うように動作しない場合は、もう一度本機の電源を入れ直してください。

HINT 5

TAP機能について

TAP機能は、FS01が2回踏まれる間のタイミングに合わせてディレイタイムを設定する機能です。曲のテンポに合わせてディレイタイムを設定したい場合などに便利です。

TAP機能を利用するには、CONTROL IN端子にFS01を接続します。また、あらかじめHOLD/TAPパラメーターがtPに設定されたPATCHを選んでおきます。準備ができたなら、FS01を1回踏み、4秒以内にもう1回踏んでください。これで現在選んでいるPATCHのディレイタイムが、1回目と2回目の間隔に設定されます。



- * 4秒以内に2回目のペダルを踏まなかった場合は、TAP機能によるディレイタイムの設定は無効となり、PATCHのディレイタイムは変化しません。
- * FS01の代わりに左右のPATCHペダルを同時に踏むことで、TAP機能を利用することも可能です。ただしこの場合は、エディットモードでHOLD/TAPパラメーターが選択された状態のみ利用できます。
- * 本機にFS01を接続する場合は、必ず電源がオフの状態で行ってください。また、FS01が思うように動作しない場合は、もう一度本機の電源を入れ直してください。

9 PATCHの切り替え方(応用編：BANK HOLD ON)

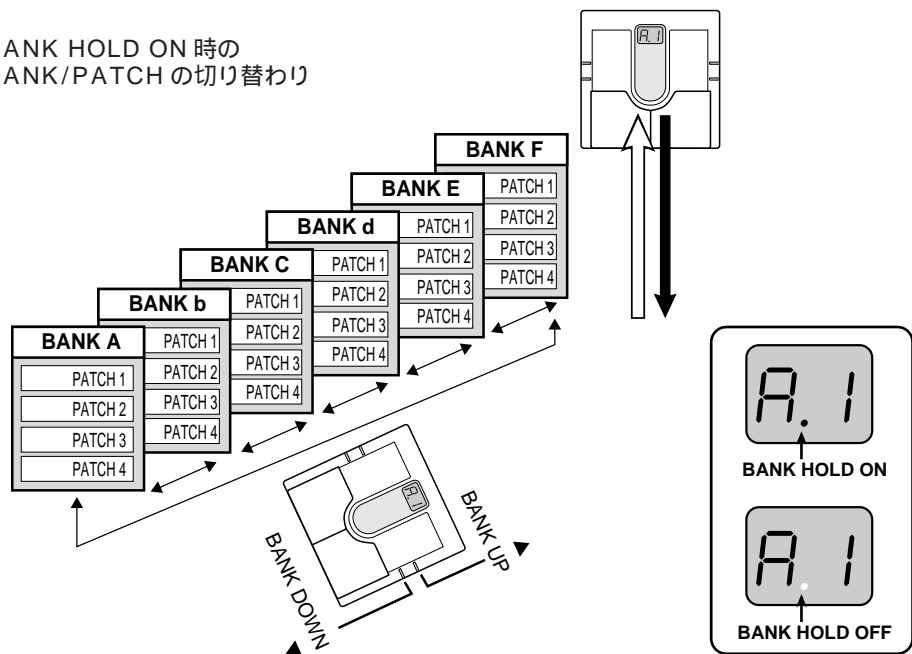
508のお買い上げ時には、BANKの区切りとは無関係にPATCHペダルを踏むとすべてのPATCHを順番に切り替えられるような設定となっています。

BANK HOLD (バンクホールド)機能は、24個のPATCHをBANKごとに分けて4個ずつ操作する機能です。この機能がオンのときにPATCHペダルを踏むと、同じBANK内で4個のPATCHが順番に切り替わります。

BANK HOLD機能をオンにする場合は、プレイモードでEDITキーを1秒間以上押し続けてください。ディスプレイ上のBANK HOLDインジケータが点灯して機能がオンになったことを示します。BANK HOLD機能をオフする場合も、EDITキーを1秒間以上押し続けてください。インジケータが消灯します。

BANKの切り替えは、VALUE + / - キーで行います。

BANK HOLD ON 時のBANK/PATCHの切り替わり



BANK HOLD ON
EDITキーを1秒間押し続けるとBANKが固定されます。解除する場合も同じ手順です。

BANK切り替え
BANK A, b, C, d, E, Fを順番に切り替えることができます。

PATCH切り替え
BANK内の4個のPATCHを順番に切り替えることができます。

10 PATCHの切り替え方(応用編：DIRECT LOAD OFF)

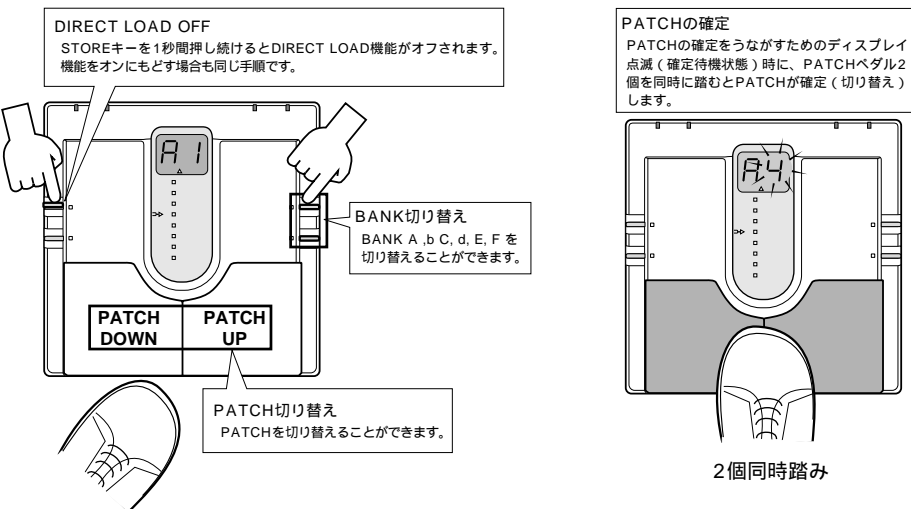
工場出荷時は、PATCHペダルを踏むとすぐにPATCHが切り替わるような設定となっています。このようなPATCHの切り替え方法をDIRECT LOAD (ダイレクトロード) がオンされていると呼びます。

1回のアクションでPATCHを切り替えられるので、並んでいる順番に切り替えるにはとても便利ですが、切り替え先のPATCHが離れている場合、不要なPATCHの音色を再生してしまいますので不便さを感じさせることがあります。

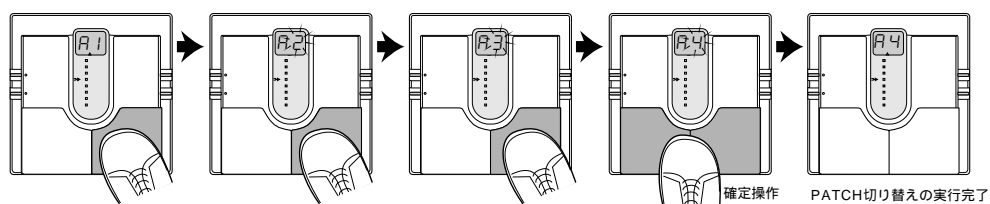
その場合、ここで説明するようにDIRECT LOAD機能をオフして利用されると便利です。DIRECT LOAD機能がオフされていると、確定操作を実行しない限り、BANKやPATCHをどのように切り替えても、現在選ばれているPATCHの音色が保持されます。

例えば、PATCH1からPATCH4に切り替える場合など、DIRECT LOAD機能がオンのときは、PATCH UPペダルを踏むたびに、PATCH2, PATCH3の音色を再生してPATCH4に切り替わりますが、DIRECT LOAD機能がオフの場合は、PATCH UPペダルを踏むごとにディスプレイの文字が点滅してPATCHの確定待ち状態であることを示します。PATCH4の点滅表示で確定操作をすると、そこで初めて音色が切り替わります。つまり、途中のPATCH2, PATCH3の音色は再生されません。

DIRECT LOAD機能のオン/オフは、プレイモードでSTOREキーを1秒間以上押すことで切り替えられます。DIRECT LOAD機能がオフされている時のPATCH確定は、PATCHペダルを2個同時に踏むことで実行されます。



例) PATCH1からPATCH4に切り替える場合



13 PATCHの保存（ストア）

お客様が作り変えた（エディットした）PATCHは、保存（ストア）しない限り別のPATCHを選んだり電源をオフしたりするとエディット前の状態にもどってしまいます。ここでは、エディットしたPATCHのストアについて説明します。

ストアは、プレイモードでもエディットモードでも行えます。操作は、いたって簡単です。

まず、好みに合わせてエディットしたPATCHの状態、STOREキーを押してください。プレイモードでストアする場合は、STOREキーを1秒以内に離してください。

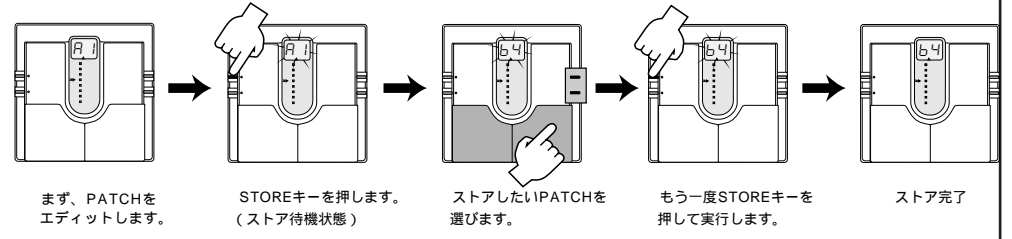
1秒以上押し続けると、DIRECT LOAD機能の設定になってしまいます。

ディスプレイが点滅します。この状態をストア待機状態と呼びます。

ストアを中止する場合は、この状態でEDITキーを押してください。

つぎに記述されている操作を実行しますと、PATCHの設定は変わってしまい、元にはもどせません。

ストア待機状態で、そのままSTOREキーを押すと、先ほどまでエディットしていたPATCHに保存されます。またストア待機状態で、PATCHの切り替えを行ってからSTOREキーを押すと、ここで選んだPATCHに保存されます。先ほどまでエディットしていたPATCHは、エディット前の状態にもどります。



まず、PATCHをエディットします。

STOREキーを押します。（ストア待機状態）

ストアしたいPATCHを選びます。

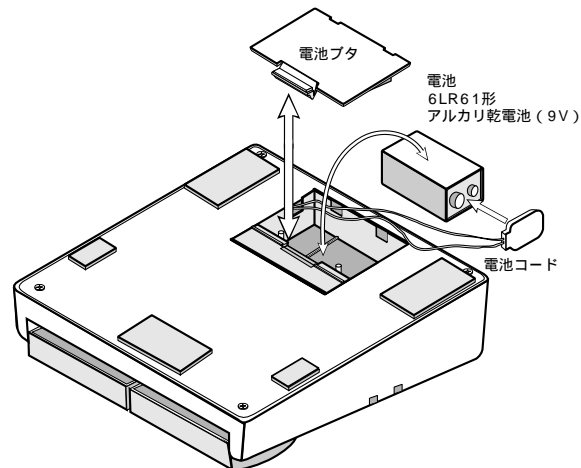
もう一度STOREキーを押して実行します。

ストア完了

14 電池の交換について

電池駆動時にチューナーインジケータが点滅する場合は、電池が消耗しています。つぎの手順で電池を交換してください。

508は、消費電流の大きい機器です。電池は、6LR61形乾電池（アルカリ）をご使用ください。ほかの電池を使用になられた場合、連続使用時間が短縮されることがございます。



- 508本体を裏返しにして、電池ボタンを開けます（爪を押して引っ掛かりを外してボタンを上を持ち上げてください）。
- 電池ケースから電池を出して、電池コードを外します（外す際は、コード自身を引っ張らずに結合端子部分を持って外してください）。
- 新しい電池を電池の極性（+/-）に注意して電池コードに接続し、正しく電池ケースに入れます。
- 電池コードをはさまないように注意して、電池ボタンを閉めてください（電池ボタンの爪がきちんと引っ掛かるようにしてください）。

15 PATCHを工場出荷時の状態にもどす方法

508は、工場から出荷をする際に当社推奨のPATCHを24個記憶しています。

この設定は、お客様が設定を書き換えてストアされた後でも復帰させることができます。

そして、この設定を復帰させる操作のことをリコールと呼びます。特に、24個すべてのPATCH設定とBANK HOLD機能やDIRECT LOAD機能の設定を初期化するなどすべてを元にもどすことをオールリニシャライズといいます。

リコールは、通常の操作とは独立しています。プレイモードやエディットモードから直接切り替えることはできません。特別な方法で電源をオンする操作でのみ、リコール操作が使用できるようになります。

リコール操作は、つぎの手順で行ってください。

- 電源を一旦オフにします。
- STOREキーを押しながら、電源をオンします。
- ディスプレイに、AL (AL) を点滅表示します。
- オールリニシャライズを実行させる場合は、この状態でSTOREキーを押してください。表示が素早く点滅してオールリニシャライズを実行します。完了すると自動的にプレイモードにもどります。
- 特定のPATCHの設定だけをリコールさせたい場合は、上記3.の状態通常で通常のPATCH切り替えと同じ操作をして、希望のPATCHを選んでください。
- 希望のPATCHを選択したなら、STOREキーを押してください。表示が素早く点滅して指定のPATCHを該当のPATCHに復帰させます。
- 個別のリコールは、継続して行うことができます。リコール操作から抜きたい場合は、EDITキーを押してください。プレイモードに切り替わります。また、電源をオフすることでリコール操作から抜けることができます。

16 製品仕様

エフェクト：	8種類（4タイプ×2バリエーション） モノラルディレイ、ピンボンディレイ、モノラルツインディレイ、ステレオツインディレイ、モノラルエコー、ステレオエコー、マルチ4タップディレイ、マルチ6タップディレイ
特殊機能：	シームレス・パッチチェンジ、ディレイタイム・タップセット、ホールドディレイ
BANK/PATCH：	6BANK × 4PATCH = 24PATCH（書き換え、保存可能）
Analog/Digital 変換：	18bit 128倍オーバーサンプリング
Digital/Analog 変換：	16bit リニア
サンプリング周波数：	31.25kHz
インプット：	ギターインプット 標準モノラルフォーンジャック （定格入力レベル = -20dBm / 入力インピーダンス = 470K Ω） ライン/ヘッドフォン兼用アウトプット 標準ステレオフォーンジャック （最大出力レベル = +6dBm / 出力負荷インピーダンス = 10K Ω 以上時）
アウトプット：	オプションFP01 / FS01 接続端子
コントロール端子：	2桁7セグメントLED、チューナーインジケータ、パラメーターカーソルインジケータ
ディスプレイ/インジケータ	
電源：	別売 ACアダプターDC9Vセンターマイナス（ズームAD-0006） 電池 6LR61形乾電池（アルカリ）×1個 連続使用 約4時間
外形寸法：	147mm（W）×157mm（D）×48mm（H）
重量：	480g（電池含まず）

- ・0dBm = 0.775Vrms
- ・製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。